



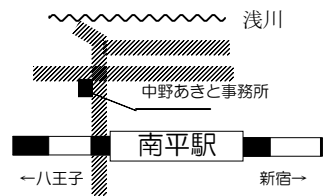
検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正



法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



ー日本共産党市議団ー コロナ対策で緊急申し入れ

オミクロン株の感染拡大にともない共産党市議団は、1月17日、日野市に対して緊急の申し入れを行いました(党市議団のコロナ対策についての申し入れは、これで14回目になります)。

【申し入れの要旨】

- ①高齢者を中心に3回目ワクチン接種を迅速に行う。
接種会場に行くことが困難な高齢者への送迎支援と、それを広く周知する。
- ②高齢者施設や医療機関への積極的な定期検査。また、現在対象外の医療機関や高齢者・障がい者の通所施設、保育園、学校などにも対象を広げる。
- ③東京都にも支援を求め、市内のPCR検査センターで、無症状者を対象にいつでも誰でも無料で検査が受けられる体制を。
- ④有症者を自宅に置き去りにせず、重症化を防ぐために市立病院の受け入れ体制を強化する。自宅療養者が出た場合は、医師会、地域の医療機関との連携をはかり、往診、電話相談、パルスオキシメーターの提供、食糧支援体制をつくる。
- ⑤医師会、地域の医療機関連携をはかり、往診、電話相談への支援を行う。
- ⑥コロナ禍で生活が困窮している方への直接給付の支援。減収で営業がひっ迫している飲食店や関連事業者に対する家賃支援や事業継続支援など、市独自の生活支援や営業を。

▶萩原副市長に申し入れを行う共産党市議団
右端は中野あきと市議



〈市政の不正・腐敗〉
与党による疑惑封じ・
幕引きを許さぬために

中野あきと

日頃から事務所ニュース「みどりと清流」をお読みいただき、本当にありがとうございます。

この間、訪問などで、いろんな話を伺わせていただき、あらためて政党支持や立場をこえて、さまざまな方々に広くお読みいただいていることを実感いたしました。

重ねて心より感謝申し上げます。今後とも、さまざまな皆さんにお読みいただけるような情報提供、紙面づくりを心がけてまいります。

先月号で、この4年間の取り組みや、目前に迫った政治戦への思いを訴えさせていただきました。日野市政にはびこる不正・腐敗を一掃し、コロナ第6波のもとで、ひつ迫する暮らしと生業を守り、子育て・介護を全力で支える市政・市議会をつくるために全力をあげる決意です。

政治戦は、本当に激烈な状況となっています。一連の不正・違法問題や、暮らしに「痛み」を強いる施策の押しつけなど、どんな問題でも賛成して市長を支えてきた与党のみならず、市政にかかわる疑惑の封じ込め、幕引きをねらって、勢力を増やそうとしています。

実は、私自身、前回から活動地域を3分の2に減らしていることもあって、本当に経験したことのない激しさ、厳しさを実感しております。

この政治戦、何としても勝ち抜いて、不正一掃、暮らしを支えるという当たり前の姿を取り戻し、安心と希望の日野市政を実現していくために全力を尽くします。

お力添えをよろしく
お願いいたします。



短信

「暗闇でしか見えぬものがある。暗闇でしか聞けぬ歌がある」……。いよいよ佳境を迎えた連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」。劇中しばしば登場する、時代劇映画の桃山剣之助の決め台詞、コロナの長いトンネルの中で聞くと意味深い▼自宅療養を余儀なくされた人は26万人と「第5波」の2倍、一般診療にも深刻な影響が。医療費削減の結果、ゆとりを失った日本の医療体制のぜい弱ぶりをコロナに教わる▼暗闇で見えてきたのは医療だけではない。「自助」と「自己責任」の冷たい政治が続いた結果、「成長できない」「賃金が上がらない」「危機に弱い」「競争力が弱い」国になっていったことに気づく▼90年代初めから本格化した「弱肉強食」の新自由主義の流れ。この仕組みを変えない限り人類の生存は難しいことをコロナは教えている。志位和夫委員長は新年の「党旗びらき」で、「暮らしを守る」たたかいを発展させ「やさしく強い経済をつくる」ことを訴えた▼スタートの年の初戦、日野ではまれにみる激戦の市議選がある。市政の腐敗一掃を問う大争点のもとで、力量拮抗同士の生き残りをかけたたたかい。何としても勝ち抜きたい▼激戦が終わるころ、「カムカム」のドラマはどんな進展を見せているのか。原因不明のまま、トランペットを吹くことができなかったヒロインの夫・錠一郎復活の力キは、あの決め台詞に中にあるのかも。

4つの重点政策

みなさんから寄せられた切実な願い
しっかりと受け止め実現まで全力をつくし
します！

中野あきと

1. ミニバス・公共交通の拡充

「免許返納をと思っているけど、出かけるのが大変」……高齢化がすすむ中で、公共交通網の拡充は切実です。免許返納しても住み続けられ、駅やスーパー・商店街に気軽にでかけられるよう、ミニバス・ワゴンタクシーの拡充、デマンド型交通（タクシー）の導入へ全力を尽くします。

◆平山循環路線の増便・バス停の増設

◆南平台、南平5丁目など交通不便地域へのデマンド型交通（タクシー）等の導入

◆南平循環路線の北野街道沿いにもう1か所バス停を設置

◆北野街道沿いのスーパーや駅前につながる公共交通の実現

2. 早急に学校トイレの改修・洋式化、南平小学校体育館へのエアコン設置

「学校のトイレが古くて臭う。早急に改修してほしい」……いまだに、改修・洋式化率は7割に止まっています。猛暑・熱中症対策として求められる小学校体育館も改築された平山小を除き、いまだにエアコンが設置されていません。一刻も早くトイレ改修・洋式化、小学校体育館へのエアコン設置へ全力を尽くします。

◆少人数授業・学級、特別支援教育の充実
◆全小中学校への学校図書館司書の配置

◆各学校に配置されていた子どもの安全を守る職員の復活

3. 補聴器購入への補助、相談・調整・トレーニングへの支援

「補聴器が高額。年金生活なので躊躇してしまふ」「せっかく購入しても雑音等が気になって使用していない」……70歳以上の半数の方が、聞こえづらくなるなど加齢性難聴になります。生活の質を維持していく上で「聞こえ」への支援が必要です。高額な補聴器購入に対する補助、言語聴覚士による相談・調整トレーニングへの支援制度の実現を図ります。

4. 傷みが激しくボロボロになっている生活道路の改修

「道路がガタガタでつまずいて危ない」……あちこちでそうした声が寄せられます。この間、住民の生活に密着した生活道路の改修予算が少ないことを指摘し、抜本的に増額すべきだと提案してきました。生活道路の改修・バリアフリー化をすすめる、高齢者や障がい者にやさしいまちづくりに全力をつくします。

北野街道・南平8丁目 一段差のある歩道— 「足元注意！」のプレート

南平8丁目14、都道・北野街道の20㍍もの段差のある危険な歩道に、このほど「段差注意」のプレートと合わせて「足元注意！」のプレートも張り付けられました。昨年、通行人が転倒し救急車で運ばれる事故も起き、中野あきと市議事務所に段差解消の要望が寄せられていました。

要望をうけて昨年12月、共産党の清水とし子都議、中野あきと市議と住民らが東京都南多摩西部建設事務所に行き、段差解消の要望を申し入れました。

今回の処置では「段差は依然残り」危険は解消されません。中野あきと事務所では、引き続き改善の要請をしていきます。



浅川右岸 堤防の補強工事始まる



平山5丁目の堤防の補強工事が始まりました。堤防の高さと厚みを大きくする工事です。住民の粘り強い交渉で、桜並木も守られることになりました。3月末に完成の予定です。

・みなさんからお寄せ頂いた・ 地域のまちづくりの要望

- ・地域に公園がない。高幡橋下を広場的に使えるようにしてほしい。
- ・京王線沿いの道路の痛みが激しい。
- ・七生丘陵公園の近隣の繁茂をなんとかしてほしい。
- ・通学路が通り抜け道路になっていて危険。
- ・公園に草木が茂ってる。遊具も古い。トイレもほしい。
- ・野鳥センター跡地について住民の意向を聞いて活用方針を決めてほしい。
- ・南平駅前にロータリーをつくってほしい。
- ・南平地域に図書館をつくってほしい。
- ・一番橋と平山橋の間に人道橋でもいいから、橋をつくってほしい。
- ・用水路のフタが古くなり、土や汚れが落ちてしまう。
- ・道路に大きな穴が開いていて危険。



【2022年3月の無料法律相談日】

- 3日（木）午後6～8時 岡田旬子事務所
- 10日（木）午後1～3時 日野市役所6階共産党控室（お申込み） わたなべ三枝・清水とし子事務所

☎042-582-1042

◎法律相談以外のお困りごともお気軽に

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円
◎短期間のお試し購読。一部売りも。
お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所